



「人間基礎力」を
身につけよう

学長 栗原 廣海



四月六日から十六日までの十一日間、本学の母体である高田本山で、開山(親鸞)聖人七百五十回遠忌報恩大法会が勤修されました。毎年一月には、九日からご命日の十六日まで七日七晩、聖人への報恩謝徳の集いである報恩講(お七夜)が勤まりますが、今回の遠忌法会は、五十年に一度の、言わば大報恩講とも言えるべき集いで、新入生の皆さんは、この記念すべき年に入学されたことになりました。

十二日(木)は、本学の参詣の日に当てられました。学生と教職員で満堂となった御影堂で「真宗宗歌」「念仏」を歌い、「歎仏偈」をお勤めして学長の法話を聞いていただきましたが、御堂の荘厳な雰囲気の中に溶け込み、一所懸命歌い、お勤めし、聴聞された皆さんの真剣な表情が大変印象的でした。

この御遠忌を機縁として、改めて本学苑の歴史が、今から約

二百七十年前の高田本山学寮での講義に始まることに思いを馳せ、「仏教精神に基づく人間教育」の建学の精神と、「やわらか心の社会人の育成」の教育の理念を再確認しながら、常に原点に立ち戻って本学の教育を見直し、改善していかなければならないと思いを新たにさせていただいたところです。

常に原点に立ち戻りながら教育の改善を目指すその方向を見失わないための重要な視点の一つに、地域社会が求めている社会人像を正しく把握するということがあります。

本学は、平成二十一年度文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」のうち、テーマBの「学生支援推進プログラム」に応募して採択され、「キャリアカナルテを用いた生涯就職支援システム」の構築を進めてきましたが、この事業の中で、本学が教育のありようを模索する一環として、学生の就職先である幼稚園・保育所・諸施設・企業等に、どのような能力・資質を採用する人物に求めているかについて調査を実施しました。その結果、「会話(コミュニケーション)力」「考える力」「チャレンジ精神」「一般常識」「笑顔で挨拶ができる」「自己研鑽し、努力を惜しまない」「専門知識や技能・技術以上に求められ

ていることがわかりました。

また、昨年十二月に、財団法人中部産業・地域活性化センターがまとめた「構造変化の中における高等教育のあり方」(教養教育充実の視点から)においても、中部の企業が、大学生が在学中に身につけるべき能力・資質として、同様のものを挙げています。大学・短大を卒業した社会人一年生に求められているのは、いわゆる「人間基礎力」であるということです。

このような結果に鑑み、地域社会から要請されている、「人間基礎力」を身につけた人材をより強力に育成するために、本学では来年度から、人間介護福祉学科とオフィス人材育成学科を統合して「キャリア育成学科」を開設し、この中に「オフィスワークコース」と「介護福祉コース」を設置することになりました。そして、建学の精神・教育の理念をベースに、「人間基礎力」をしっかりと身につけて、地域社会に貢献できるオフィスワーカー・介護福祉士の育成を目指します。

三学科の在学生の皆さんも、専門知識や技能・技術はもちろん、「人間基礎力」を十分培うよう、日々努力を惜しまないでいただきたいと思います。

目次

学長のことば	1
学生生活紹介	2
・学内施設の改修	2
・学生自治会	2
・新入生宿泊研修	3
・図書館、カウンセリング室、保健室	3
・海外英語研修	4
・キャリア支援とボランティア支援	4
学科記事	5
・子ども学科	5
・人間介護福祉学科	6
・オフィス人材育成学科	7
教育研究施設等	8
・仏教教育研究センター	8
・御遠忌本山参詣の実施	8
・育児文化研究センター	9
・NPO保育士人材バンク	9
人事、同窓会近況	10
卒業生メッセージ、公告	11
就職状況、編集後記	12

学内施設の改修

学生のみならずが、より利用しやすくE.C.Oに配慮した環境を目指し、学内設備の改修工事を行っています。学内設備、学生昇降口の自動ドア、校舎間の渡り廊下、カフェテリア、オープンテラス、学生ロビー、育児文化室、トイレの改修が完了しました。



学生ロビー



学生昇降口



育児文化室



オープンテラス



カフェテリア



2号館～音楽棟・体育館歩廊



トイレ

学生自治会

皆さんこんにちは。私たちは学生自治会執行部の十二人です。

私たちの活動は先輩方と一緒に取り組んだ今年一月のTJC祭から始まりました。先輩方に企画していただいたTJC祭では約百二十人の学生が参加し、学生の頑張っている姿やたくさん笑顔を見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

先輩方が卒業され、私たちが本格的に活動が始まりました。今年には行事が多く、大学祭やTJC祭の他に、ランチタイムコンサートやバーベキュー大会などを計画しています。一つひとつの行事や学生生活を、皆さんに楽しんでいただけるよう毎週執行部が集まり、意見を出し合って頑張っていきたいと思えます。

今年の三月に、執行部の内の五人が東日本大震災で被災した宮城県に行ってきました。宮城県石巻市にはまだ瓦礫が山積みになっており、『復興』という言葉がほど遠く感じました。私たちに住む家があり、家族も居ます。今まで当たり前だと



思っていたことは決して当たり前前のことではないということが必要がありました。震災から一年経った今、もう一度私たちに出来ることは何なのかを考えていく必要があります。そして一瞬一瞬を大切に生きること、精一杯生きる事が大切だと思えます。そのために、この高田短大でたくさんのかたちを学び、たくさんのかたちを経験し、たくさんのかたちをつくりたいと思っています。

今、私たちは高田短大の一大イベントである大学祭に向けて動き始めています。今年の大学祭は、十月二十六日(金)、二十七日(土)に行われます。大学祭では皆さんのご意見やご要望も取り入れ、短大全体で大学祭を作り上げていきたいと思っています。また、この大学祭を通して他学年との交流を深め、たくさんの方と関わってみたいと思っています。

私たちが就職活動が始まり、まだ分からないことや不安もありますが、執行部の皆で力を合わせ、時には学生の皆さんや教職員の方々に力をお借りし、頑張っていけますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

- ◎ 私たち執行部の活動内容
- ① 学生自治会の年間業務の企画・予算
- ② ランチタイムコンサートの企画・実施
- ③ バーベキュー大会の企画・実施
- ④ 高短祭の企画・実施
- ⑤ 卒業アルバム編集
- ⑥ 謝恩会の企画・実施
- ⑦ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催
- ⑧ TJC祭の企画・実施
- ⑨ その他ボランティア活動など

平成24年度 新入生宿泊研修

学務委員長 福西 朋子

新入生のみなさんが、四月三日の入学式を経て高短キャンパスライフのスタートを切りました。入学当初は専門的な講義や演習の授業に新しい発見のなかにも戸惑いを感じたり、同じ目的を持つ仲間との今後の生活に期待をしたりしたのではないでしょう。か。そのような中、「短大生としての自覚・自立心及び協調性を養う」「学生・教員相互の理解と親睦を深める」を目的として、四月二四日（火）、二五日（水）の二日間、新入生宿泊研修（於：白山ヴィレッジゴルフ倶楽部）が行われました。天候に恵まれ、また緑豊かな会場で清々しく研修がスタートしました。学長の講話、研修諸連絡の開講式、学科別研修やパターゴルフを実施しました。

【学科別研修】

○子ども学科
1日目は「すてきな保育者になるために」と題し教員リードで、保育に活かせるあそびを楽しみました。1日目夜から2日目にかけて恒例の『つくって・あそんで・みせて2012』を行いました。今年も各グループ趣

向を凝らした衣装やダンス、教員登場の演出に発表会は拍手と歓声の渦でした。

○人間介護福祉学科

1日目午前は、「人間理解のために文化と世代を考える」をテーマに教員による講話「人間理解と文化」「アフリカ・ケニアでの体験を通して」による異文化から人間理解を深める研修、午後は、教員・学生共同ワークによる研修を行い意見を交わしました。今後の関係づくりのよい機会となりました。

○オフィス人材育成学科

「THE FUROSHIKI」をテーマに日本の伝統文化である風呂敷を使ったグループワークに取り組みました。今の学生にとってあまりなじみのないアイテムではありますが活用方法の豊富さから多くの発見があったのではないのでしょうか。

【パターゴルフ大会】

各学科別にゼミグループ対抗戦として行いました。なかなかゴールに辿りつかない場面あり、ホールインワンに大歓声の場面ありなど、仲間と豪華賞品をかけたゲームは盛り上がりしました。
夕食バイキングも仲間と打ち解けた雰囲気で大いに食が進みました。この研修は学生達にとって、意義ある短大生活を送る上で大切な機会となりました。



図書館

図書館では、学習に必要な資料や学生の皆さんから要望のあった資料を収集しています。保育、介護、情報等の専門図書を中心に、レポート作成、実習、就職活動や資格取得等、本学での学生生活の様々な場面で役立つ資料を揃えています。ぜひ活用してください。
○開館時間（授業日）
8時50分～17時30分
（長期休暇期間中は16時30分まで）

カウンセリング室

薬を飲んでもどうにもならない、なんだかわからないけれど心が苦しい、辛い、そんな経験はないでしょうか？こんなことを言ったら人に笑われる、そう思ってしまうませんか？
人は話すことで楽になることがあります。カウンセリング室では、専門のカウンセラーが、

保健室

保健室には、休養するベットやホットとするコーナーと健康に関する本・パンフレットなどがあります。ケガや体調不良に対処し、より健康になるための話をします。静養室は、感染症の疑いがある時に隔離室として、また、心の安楽の場所として、ベットやソファがあります。

○卒業生も利用できます。詳細はホームページをご覧ください。
また、次のような活動も行っていきます。（在学生向け）
▽創作展：7月頃から創作作品の募集を行い、短大祭で展示します。
▽図書館メイト：図書館活動に参加するボランティアを随時募集しています。
自己表現・体験活動の場としてもどうぞご利用ください。

あなたの話を真剣に聴きます。あなたが今まで誰かに「くだらない！」とか「そんなことを思うのはあなただけだよ！」と言われてきたようなことも。
話した内容や、誰が訪れたかなどがカウンセリング室の外に漏れることはありませんから安心して話して来てください。保護者や卒業2年以内の方も教職員も、無料で利用できます。予約制で時間は50分間です。

カウンセリングの予約も受け付けています。
一人ひとりの学生さんと向き合い「自分の身体は自分を守る」という方法を探っています。
皆さんも自分が持っている「生きる力」を見つけませんか？
保健室で知った皆様の情報は、秘密厳守をします。安心して、遠慮せずに来室してください。卒業生の方も利用できます。
直通 ☎059・253・7031



海外へ行くことで、自分が成長できたらいいなといった気持ちや子供への教育に対する方針を学びたいと思い、この研修に参加することを決めました。学内での、海外英語研修指導の授業は、英語で九〇分を進めていくというものでした。そのおかげで英語の流れを感じ取ることができ、会話の中で分らない言葉が出てきても分かる言葉だけで考えたり、雰囲気は何を伝えられているかを理解できるようになっていました。それでも、オーストラリアに行つて大丈夫なのかと考えることも少なくありませんでした。

期待やわくわくした気持ちを抱え、オーストラリアへの旅に出かけました。ホームステイは最初は緊張し、話をする事ができませんでした。自分の今感じていることを言葉にするために、まず、頭で英語を思い浮かべていました。ですが家族に慣れてくると、単語で伝えることで理解してくれる家族がいたのが恐ろしく英語で話すことができました。そして単語から文へと会話の時間も増えていき冗談なども聞き取ることができ、言い返すこともできるようになりました。とても楽しい時間を過ごしました。家族の繋がりがとても深いことを知り、人との繋がりを大切にしようと感じた二週間でもありました。夜の満天の星空を見ながら家族との会話はとても充実していました。ホストファミリーを離れるときに、お父さんが私のことを娘だと言ってくれました。とても嬉しく感



動し、涙のお別れをしました。幼稚園訪問では、環境が素晴らしいことに驚きました。園庭に小川や、陽射しの強い国ならではの日陰が多く作られており、また転んでも痛くないように芝生になっていました。子どもたちの様子は日本と違いワイと遊んでいるというよりは、静かに自分のしたい遊びを楽しんでいるという印象を受けました。幼稚園教諭も室内では室内用の声で、屋外では屋外用と大を区別しており、会話をしている声より少し小さい声で室内の保育活動をしていました。これからの実習等に学んだことを取り入れていきたいと感じています。

メルボルンでは、キャプテンクックの家やショッピングなど自分たちで地図を見ながらの観光地巡り、メルボルンに住んでいる高田短大の先輩の話や聞くなど楽しい時間を過ごしました。今回の研修は、温かいホストファミリー、高田短大の教職員の方々をはじめとする多くの方によって支えられてきました。本当にありがとうございました。今回の研修で体験したことや学んだことを活かし、これからの人生に役立てていきます。挑戦しようという気持ち・前向きな気持ち・人の温かさに触れた二週間でした。(望月愛子)

◆ キャリア支援センター ◆

キャリア支援とボランティア支援について

キャリア支援センターは二号館一階（学生玄関右手）にあります。企業や施設・園等の求人情報や受験状況を入手するため、また履歴書・自己紹介書の添削や面接練習を受けるために毎日多くの学生の皆さんにセンターを利用していただいています。

昨今の厳しい雇用情勢の中で就職内定を得ることは簡単ではありませんが、2年間の短大生活の中で身に付けた知識や技術、思考力や判断力などを進路希望の実現や適職探しに活かして欲しいと思います。そのためには日々の勉強への真摯な取り組みがまず求められます。そして、その結果として資格や技術だけではなく、粘り強い姿勢、周りの人との協調性等が磨かれます。皆さんは、やわらか心を持った高短卒業生として、1年後、2年後に社会に迎えられます。期待される人材に育って欲しいと思います。

「時は金なり」という言葉は適切な表現ではないかもしれませんが、時間を有効に活用する力は重要です。「忙しい人に仕事を頼め」という言葉が社会にあります。忙しい人ほど有能で期待される成果をあげることができるということです。皆さんも通学時間を利用して、勉強や読書をして基礎力を高められてはいかがでしょうか。

■ボランティア活動支援室は、学生が社会の中でボランティア活動を通して、学生時代でしか体験できない貴重な学びに機会を得るお手伝いをしています。場所はキャリア支援センターと保健室の間にあります。ボランティアは頑張っても、それに見合う報酬を得られるわけではありません。しかし、お金にならないだけに得られる社会からの感謝を直に感じる事ができる感動の世界です。また、自分を変身させる最高の機会です。情報は専用掲示板にて案内していますが、是非、ボランティア支援室を訪ねてきてください。情報を得た人だけが、チャンスをもものにします。



毎日、たくさんの学生が利用しています。1年生も早くから利用しましょう。



子ども学科

山崎学科長と学生が対談を行い、「子ども学科」の学びについてお話をいただきました。



【写真左から】
中塩屋見奈美（1年）、山崎征子学科長、
竹内仁美（2年）、村田貴則（2年）

—高田短期大学での学生生活はどうですか？

中塩屋「同級生はみんな元気があって、子どもが好きということがよく分かります。また、学生同士いろいろなことを話しますし、ふとした時に声かけや気づきができると思います。」
村田「二年生は養成課程の折り返し地点に来ています。目指す夢が近づいてくるという状況をどのように感じていますか？」

も多く、保育者として勤務することを徐々に実感しています。」

竹内「一年次と比べると、今は、実習、授業、就職講座などとても忙しくなったと思います。」

山崎「そうですね。実際は残り六ヶ月程度で就職を決めるという状況の中、忙しい分だけ充実していると思っしてほしいですね。二年間の学びの中で、楽しむ時間と勉強する時間のメリハリをつけてながら、保育者として必要な知識や技能をしっかりと身に付けてほしいと思います。」

—一年生の時にもっと学んでおけばよかった、身につけておけばよかったことはありますか？

竹内「保育者としての専門性など、自分の興味のある分野について、時間をかけて勉強しておけばよかったと思います。一年生の時のほうが学ぶ時間がありましたから。」

村田「専門的な技能の中では、沐浴やおむつの替え方などです。保育実習で0歳児を担当することがあるので、演習の授業でしっかり学んでおけばよかったと思います。実習でうまくできないことがあったので。」

山崎「保育所の場合は、年齢の対象幅が広いですね。保育実習Iでは、子どもにふれ観察し発達の様子を学習します。保育実習IIでは、子どもの内面を理解し、保育の楽しさを感じ自己

の課題も見えてきて、知識や技能を磨かなければならないことを自覚します。」

村田「あと僕の場合は、ピアノの練習がもっと必要だったと思います。」

中塩屋「今後の1年間の学びとして、とても参考になります。」

—男性保育者として勤務することの不安などはありますか？

村田「不安はあまり感じていません。実習では男性のほうが温かく見守ってくれるというか、女性と同じ仕事ができることが評価される感じがします。」

山崎「男性が現場に入ると、子どもたちはダイナミックな動きに期待します。また、男性ならではの視点で子どもを見ることも大切です。保育所の家族的雰囲気大切にしている場としても意識深いと思います。」

—学科長からのメッセージ
山崎「一人ひとり学生さんの個性を生かし、子どもと一体感をもって関わり、子どもが主体となった保育をデザイン出来るように成長して欲しいと願っています。それに協調、意欲、コミュニケーション力を身に付け、確かな保育観を持ち、自分の保育が語れるようになって欲しいと思います。今、保育の世界は新しい時代を迎えようとしています。その中に存在感を示す事を期待しています。」



子どもを「みる」ということ

賣來 敬章

私がまだ大学院生だった頃、カリフォルニア州ロサンゼルスLos Angelesの小学校へ調査訪問に行きました。訪問した地域は治安の悪化、不登校、学力低下など多くの課題があったものの、その学校は子どもの多様な要求に応え、保護者を巻き込みながら確かに成果をあげている学校でした。教室では肌色だけでなく国籍、言語、文化などあらゆるものが異なる子どもたちが学んでいます。移民を多く抱えるアメリカ特有の異文化・多文化がまさに眼前にありました。「多様な生徒に対応することの難しさ」を聞いた際の、ある先生の話が

とても印象的で、興味深いものでした。「子どもの要求や発言は正直で直接的です。だからこそ私達は、その言葉を批判的に捉えなくてはなりません。重要なのは「言わせている」理由とは何かを考えることです。これは、目の前の子どもを相手にするとき、発した言葉だけでなく、その子が有している文化、価値観、家族関係、環境といった、「その子を取り巻く社会」を考えることだと思います。

これは、日本の教育にも多分に当てはまることではないでしょうか。保育者として異なる文化をもつ子どもたちを相手にすると、様々なニーズに応えることが要求され、自分の考えが通用しない場面が多々あるかもしれませぬ。子どもを「みる」とはどのようなことか、上述した言葉は示唆に富むのではないのでしょうか。



自然と共に学ぶ
子ども学科 1年
田中 美咲

高田短期大学に入学して、早1ヶ月が経ちました。授業にも慣れ、同じ目標を持つ多くの友と共に毎日を刺激し合いながら過ごしています。

私は、自然や植物とふれあうことが好きで、食育応援隊に参加しました。年に5回ほどイベントが開催され、野菜を育てた

り親子とふれあったりする機会もあり、良い経験になると思います。また、子どもたちも室内遊びとは違った体験ができ、自然や植物の大切さなどを学べると思います。

私はこうした経験を通して自然の大切さや素晴らしさを伝えていける保育者になりたいです。二年間という短い期間の中で多くのことを学び現場で活かせるように過ごしていきたいです。



介護福祉士の資格取得方法の
変更と医療的ケア

一新学科への移行
にあたって



人間介護福祉学
学科長 千草 篤磨

人間介護福祉学では、「人間理解」「介護技術」「社会福祉」を3つの柱として、日々学生と教員が一体となって実践的教育を行っています。

さて、昨年の法律改正で、介護福祉士の資格取得方法が変わることになりました。それは、平成26年度入学生から短大等で受験資格を得た後、介護福祉士国家試験を受験しなければ資格が取得できないことになりました。一方、短大等を卒業しない場合は、3年以上の実務経験に加えて、さらに1年程度の通信教育等での実務者研修を受講して受験資格を得た後に、改めて国家試験を受験するという手続きになります。

また、この法律改正では同時に、介護福祉士の業務として新たに喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアが加えられました。これに伴って、介護福祉士養成課程のカリキュラムに「医療的ケ

ア」の科目が追加されることとなります。介護福祉分野が高度化・専門化される中、介護と医療の連携が必要不可欠になってきたことの現れです。

このように平成26年度入学生からの「国家試験化」「医療的ケア」など、大きく変わろうとする介護福祉士養成教育に先駆けて対応するために、平成25年度より「キャリア育成学科・介護福祉コース」として新たに出発することになりました。

短大生活をはじめるとあたって



人間介護福祉学
1年 谷口 実沙

入学して早くも1か月がたちました。大学は高校と違い、授業が90分もありとても長く感じたり、休講や補講の仕組みに中々慣れなかつたり、とまどう事も沢山ありました。

授業では、介護の現状や身体などの難しい授業が多く、覚えなければいけない事が沢山あり大変です。この間、授業で介護福祉士は利用者の人権を尊重する事が大切だとなっていました。その先生からこんな話を聞きました。ある福祉施設で暮らしている利用者が介護士にハワイへ行きたいからつれて行って欲しいと頼みました。介護士は最後のお願いだからと思いい、ハワイにつれていくと約束しました。しかし、それはすぐく大変

な事でした。その人は障害のある人だったので、ハワイにつれていく事はとても難しく、他の介護士は無理だと言いました。でも、その介護士は約束したからと言って、看護師や他の介護士達を納得させてハワイにつれていきました。

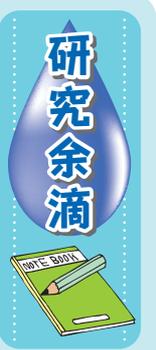
この話を初めて聞いたとき、正直すごいと思いました。ハワイにつれていくと約束したからと言って、ひとりの為にここまでするのは驚きました。利用者の人権を尊重する事があらためて大切だと言う事を学びました。

まだ短大での生活は始まったばかりでこれから大変な事も色々あると思いますが、不安な時は友達や先生方に相談して、スタートしたばかりの短大生活を楽しみたいと思います。

一年間を振り返って

人間介護福祉学
2年 高木 柚歌

高田短期大学に入学して、早くも一年が過ぎました。私は介護福祉士になるという目標を掲げ、この学校に入学しました。ですが、具体的にどういう介護福祉士になりたいというのはなく、単に介護するつもりでいました。でも、それは間違いであるということに気づき、本当の介護を学び、追求していきます。私の思い出深いものを少し紹介します。一つ目はオープンキャンパスです。1か月前から自分



認知症になっても

徳山 貴英

日本の認知症高齢者数は、二〇〇二年に約百五十万人となり二〇二五年には約三百二十万人になると推計されています。このような状況の中、医療においては二〇一一年にアルツハイマー型認知症の新薬が承認され、介護においても認知症状態の維持・改善を目的にさまざまな取り組みが行われ、認知症を取り巻く環境は変化しています。その一つが「くもん学習療法」であり、三重県内でも導入する施設が増加しています。

くもん学習療法とは音読と計

たちが企画や役割を決めて運営しました。毎日、プログラムを作ったり、レクの練習などを行い、悩みながらの日々でした。

二つ目は介護実習です。最初は戸惑いや不安がありました。しかし、利用者さんからの言葉や笑顔が私の力になりました。また、実際に介助をさせていただき、自分の未熟さを痛感しました。

そして三つ目はわらいグループというボランティア活動です。三月に先輩方から引き継ぎました。毎月千里が丘というところ

算が中心の教材学習を、学習者と指導者がコミュニケーションを取りながら行うことで、学習者の認知機能やコミュニケーション、身辺自立機能等の維持・改善を図るものです。もちろん学習療法を行うことで認知症が完治することはありませんが周辺症状の緩和や、意欲の出現等の変化が生じます。また、コミュニケーションを通じ学習者を再アセスメントすることで新たな気づきを得て介護のケアに活かすことが可能となります。

認知症に関しては今後、治療が困難であったとしても社会資源を活用し、介護において高齢者の尊厳や生活を守るために、より多くの取り組みが出現すれば、認知症になっても思いに沿った自分らしい生活が容易となることでしょう。

でサロンをやっている、そこでお話し等させてもらっています。学校では、そこでお渡しするお土産を毎日作り、楽しみながら活動しています。

私はこの一年間、様々なことを学んできましたが、この高田短期大学に入学して、自分の生活も少し変化がありました。当たり前と思うことに注目したり、ボランティアに参加したりと、活動の幅が広がりました。これから更に成長できるように頑張っていきたいです。

仏教教育研究センター

センター長 金信 昌樹

仏教文化研究センターは、4月より仏教教育研究センターと改称しました。当センターは、建学の精神である仏教精神、浄土真宗の精神に基づいて本学の教育を推進すると共に、地域社会における精神文化の進展に寄与することを目的としています。更に、真宗高田派の教学を振興し、高田派の僧侶、宗門の指導者を育成すると共に、地域の方々の生涯学習に資することも合わせ持っています。

学生への教育、地域への貢献に努めるためにいくつかの活動を行っています。その内容は、講座と専門研究に分けられます。講座は、公開講座と基礎講座の2つの講座です。

公開講座は、年2回行われ（24年度は3回）、学外や研究員の先生方を講師として講演をしていただきます。

基礎講座は、高田派の教師資格取得のための研修の一部ですが寄附講座として行い、一般の方々にも公開していただきますので聴講することができます。内容は、仏教学、真宗学、仏教史、真宗史、高田の歴史と法宝物の5科目を8月の第4または第5週（今年度は20日から24日の5日間）に行

います。共に、無料です。

専門研究については、高田派の中興の祖師と仰がれる専修寺第10世真慧上人の著『顕正流義鈔』の自筆本の写真とその翻刻文、そこに現代語訳、頭註、補註等を施して、宗派内外に耐え得る学術研究書の発行に向けて共同研究を行っています。あと僅かの段階で完成するところに来ています。研究員の先生方が月1回集まって、白熱した議論を戦わせています。

又、当センターが所蔵する智慧光院旧蔵の寄贈書籍の所在・登録の再確認と調書を作成し、料紙・綴じ糸破損等箇所に対する補修作業を行っています。何れは寄贈図書目録を作成できるように図りたいと思っています。



今年度のセンターの公開講座は次の日程で行います。

・第1回講座

9月21日(金)13時30分～15時30分
講師…金信昌樹（人間介護福祉学科特任教授、仏教教育研究センター長）
講題…「親鸞聖人の生涯―た

だ一筋の道―」

・第2回講座

10月19日(金)13時30分～15時30分
講師…安藤章仁氏（高田中・高等学校非常勤講師、本学仏教教育研究センター研究員、早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員）
講題…「親鸞聖人のお人柄を仰ぐ」

・第3回講座

11月9日(金)13時30分～15時30分
講師…瀧川和也氏（三重県環境生活部新博物館整備推進プロジェクトチーム主幹、三重県立博物館学芸員）
講題…「専修寺如来堂本尊・阿弥陀如来立像について」
会場は、9月は高田本山宗務院第1会議室、10月・11月は高田会館ホールです。



御遠忌本山参詣の実施

仏教行事委員長 畠山 義啓

真宗の宗祖である親鸞聖人は、弘長二年（一二二六）九十歳の生涯を終えられました。古来、高田本山では、五十年ごとに聖人の御正忌を遠忌報恩大法会としてお勤めをしてきました。そして、まさに平成二十四年が七五〇回の御正忌に当たり、四月六日から十六日まで十一日間わたって大法会が営まれました。この大法会の基本理念は、「聖人のみもとに帰ろう」というものです。これは、『物質的な豊かさに反して精神的な不安が蔓延し、人心の混迷を深めるこの時代、「教行証文類」序に示される「誠なるかなや 撰取不捨の真言 超世稀有の正法 聞思して運慮することなかれ」の聖人の励ましを真摯に受けとめ、今こそ聖人の教えを確かに戴くべく邁進し、本願念仏の真宗としての聖人のみ心に帰すべきである。』ということなのです。

本学では、四月十二日午前九時からの一時間を頂き、全学生で本山の御影堂へ参詣しました。昭和四十一年（一九六六）開学の本学にとっては、初めて迎える遠忌報恩大法会です。企画運営側としては、総勢五百名の学生・教職員がスムーズに入堂

できるのか、天候はどうなのか、時間通りに集合できるのかなど、いくつかの不安要素がありました。ところが、当日になってみると、前日の大荒れの天候とは打って変わって、晴天に恵まれ、早朝にも関わらず三十分前から学生が続々と集合し始め、予定通りに入堂することができました。参詣では聖歌隊による仏教聖歌斉唱、全員での勤行そして学長先生からご講話を頂きました。学生の皆さんの参詣の様子は、とても落ち着きのあるすがすがしいものでした。そして、最後に親鸞さんの教えを腹に戴くということで、親鸞聖人の像が描かれたお煎餅をお土産に頂いて短大へ帰ってまいりました。



育児文化研究センター

センター長 宮崎 つた子

○開設からを振り返って
高田短期大学育児文化研究センターは、子どもの教育や福祉、子育て問題、児童福祉文化に関する専門的研究を行う実践センターとして平成十六年十月に開設されました。



早いもので開設から八年目を迎えています。時代と共に地域で子育て支援事業も沢山経験させていただけてきました。

特に、平成十九年には文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に採択され、地域子育て支援ボランティア活動体験型教育が充実した年でした。この年度から社会

でも「ワークライフバランス」や「育児支援の充実」が叫ばれるようになりました。

平成二十二年度からは、津市次世代育成支援後期行動計画関連事業の一環として、津市の子育て・子育て支援会議主催の取り組みで「元気っ津まつり」にコアメンバーとして参画し、地域連携子育て支援事業も担っています。地域の活動に参画することで新たな繋がりが多くなりました。

そして、平成二十三年度は地域の子育ち・子育て支援に寄与するため、「おやこひろばたかたん」を学内施設の育児文化室で開設いたしました。



「親や子どもがまわりとつながるためのひろば」として、親子の交流・活動の場の提供、子育て講座などをひろば専属ス

タッフやボランティアスタッフ、研究員、教員、学生が関わって行っています。

○今年度の取り組みにあたって
今年度から育児文化研究センターの構成メンバーに学外運営委員が加わり、地域の関係機関、専門分野からの示唆を得ながら新たな事業展開を行って参ります。

基本方針は、従来の事業や教育の充実を図りながら、育児文化研究と地域貢献および地域連携活動を行う体制づくりとし、以下の4つの事業を中心に行っていきます。

- ◇研究員の活動充実のための支援
- ◇津市「ひろば」のネットワーク構築拠点となる開放事業の運営
- ◇地域子育て支援団体との連携
- ◇津市委託事業「子育て支援」事業

今年度は組織が変わり、津市との事業展開も増え、新たなセンター活動も増えると思います。具体的には、六月よりひろば開設日の月・木曜日の一部で十二時三〇分～十四時の間に専任教員が育児相談を開始します。内容は「発達相談」「子どもの食と栄養について」「子育てについて」「子どもの発達と健康」を予定しています。

その他にも、津市ひろばスタッフの研修会や「子育て・子育て支援」に関する地域啓発事

業として講演会も企画しております。

「子育て応援隊」も、今年度からはボランティア室と連携して地域からの依頼に応じて子育て支援の関連行事や活動に参加して子育て支援力を形成していきます。



その他の事業としては、通例のセンター会議、定例研究会の開催、センターだより「いくぶん」や紀要「高田短期大学育児文化研究」の発行を行います。本センターは、今までの取り組みを基盤に、地域の皆様と連携して、さらなる活動の充実を図っていききたいと思っております。

今後とも、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

Mie 保育士人材バンク takada-jc の設立

事務局長 河北 浩峰

女性の社会進出や経済情勢の悪化による共働き世帯の増加などにより保育ニーズが増大され、保育サービスは大きな変革を迫られています。このような状況の中で、保育所では保育士が恒常的に不足しており、特に、年度途中に人材を確保できない状況は深刻さを増しています。そこで本学卒業生約五〇〇〇人にアンケートを行い、これを基に短大内に「Mie 保育士人材バンク takada-jc」を立ち上げました。就職のコーディネートについては、三重県社会福祉協議会と連携をとり再就職の支援を行っています。

Mie 保育士人材バンク takada-jc
 保育士バンク教育 and スキルアップ教育の
 提供を目的として
 http://portal.takada-jc.ac.jp/linac/



着任のみなさん



子ども心に寄り添って
子ども学科
小菅 千恵子
四月より子ども

学科で、「保育内容―環境」、「子どもとあそび」、「家庭支援論」を担当させていただくことになりました。保育現場で学んだことや教えられたことを学生に伝え、子どもの心に深く寄り添うことのできる人間性豊かな保育者の育成に力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



多様なまなざしを
子ども学科
實來 敬章
四月より子ども

学科で教育原理、保育内容総論、教育実習指導等を担当させていただきますことになりました。授業を通して、異なる視点で考えることの楽しさを実感し、子どもに対する多様なまなざしを持つ保育者の育成を目指したいと思っております。よろしくお願いたします。



着任にあたり
人間介護福祉学科
福田 洋子
四月より人間介

護福祉学科に所属し、介護総合演習、介護過程、人間福祉総合演習、心と身体及び、心と身体の医学を担当させていただくことになりました。超高齢社会に向けて高齢者、障害者の人権や尊厳を考えていける介護福祉士の育成に尽力してまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



こころ豊かな介護
福祉士の育成を
人間介護福祉学科
徳山 貴英
四月より人間介護福祉学科に

て「認知症の理解」「人間関係」等を担当させていただくことになりました。障害者や高齢者のこころに真に向き合い、寄り添うことのできる介護福祉士の育成に励み、介護老人福祉施設での経験を活かして、生の声を届けられたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



学生支援に努めます
キャリア支援センター長
梶間 稔
やわらか心の学

び舎で仕事ができることは、私にとって大きな喜びです。750回御遠忌の年に着任できたことも偶然とはいえ感慨深いものがあります。私の仕事は、皆さんのキャリア支援です。皆さんが笑顔で卒業式を迎えられるよう微力ながら尽くしてまいりたいと思います。皆さんの積極的な来室を心より期待いたします。



笑顔で卒業を
キャリアサポーター
今西 秋穂
昨年七月より、

キャリア支援センターで、求人企業開拓に主に、鈴鹿から北勢地方を担当させていただいております。学生の皆さんには、笑顔で卒業できるよう就職のお手伝いに微力ながらお役に立ちたいと思っております。よろしくお願いたします。



着任にあたって
入試広報課
竹内 貴彦
四月より入試広

報課でお世話になることになりました。三月まで高田本山でおり世話になっておりました。新しい環境に早くなじみ、少しでも皆さまのお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



《平成24年度 人事》
○退職

- | | | |
|------------|-------|----|
| 教授 | 采華 | 真澄 |
| 教授 | 佐藤 完 | |
| 准教授 | 長岡さとみ | |
| 講師 | 池村 進 | |
| 助教 | 中川 千代 | |
| 助教 | 中村 智子 | |
| 助教 | 伊藤 茂一 | |
| 教学部長 | 伊藤 茂一 | |
| 教学部教務課嘱託職員 | | |
| 阿部 慶子 | | |

同窓会の近況
北端 一子

第一回の役員会は、年度初めの一本のメールから始まりま。役員全員が出席することは難しいので、全員の都合を聞いた上で日を決めます。前年度に決めてあっても全員出席とはいきません。職を持っているものは、どうしても職務を優先させたり、家族を優先させたりするからです。時間は、午後七時、場所は高田短大会議室です。同窓会の理事は、毎年各科から一〜二名理事として活動していただいています。

短大独自の同窓会総会は、ありませんが、高田中学校・高等学校・短大とで樹心同窓会として年一回、八月の最初の日曜日にあります。短大からの出席は少ないので、会員の皆様の参加を待っています。さて、同窓会活動として今年も高短祭にバザーをします。会員の皆さんの協力を得て品物を集めています。ぜひ一緒に参加しませんか？そして、高短祭を楽しみ盛り上げましょう。

卒業生からのメッセージ

- ①勤務先
- ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③将来の夢
- ④高田短大とは
- ⑤後輩へのメッセージ

保育士としての第一歩

平成23年卒
本原 絵奈



①社会福祉法人 由学苑福祉会 久居 保育園 ②日々、可愛い子どもたちの笑顔に出会えることです。その笑顔を見る度に、今日も頑張ろうと背筋が伸び、力が湧いてきます。子どもの頃からの夢であった保育士になり、たくさんの経験をすることが今はとても楽しいです。しかし、保育士としてまだまだ未熟な為、日々勉強であると感じます。③先輩から教えていただく事や日々の保育の中で得た経験を活かし、子どもの声をしっかりと聴き気持ちに応え、信頼される保育士になることです。子どもたちに安心感を与えることが出来るように成長していきたいです。

④同じ夢を持った楽しい仲間に出会え、夢を実現できた場所です。先生方とは友だちのように

気軽に話すことができて、とても温かく楽しい場所でした。⑤今を精一杯楽しみ、二年間の貴重な学びを自分のものにしていって下さい。

介護現場で働き始めて

平成23年卒
大倉 美春

- ①特別養護老人ホームライフかざはや
- ②利用者の方と関わったとき笑顔を見せてもらえたり、「ありがとう」「慣

れてきたな。頑張つて」「こっち来てくれて嬉しいわ」などと言ってもらえた時、以前まで出来なかったことが出来るようになった時とても嬉しいと感じます。ですが、まだまだ未熟で、要望に対して充分に応えられないことも多くあるので、応えることが出来るよう努力していきたいと思えます。③利用者の方との関わりを大切にして、その方の要望に沿った生活が出来るよう考え、援助するようにしていきたいです。④介護のこととはもちろん、沢山のことを教えてもらいました。先生方や友達に支えられながらも二年間一緒に過ごすことが出来て本当に良かったと思います。⑤短大の授業や実習で学んだことは働いた時とても活かされると思います。二年間と

いうのはあつたという間ですが、沢山学び楽しい短大生活を送って下さい。

メリハリのある学生生活

平成23年卒
森田 菜月



- ①株式会社サイネックス
- ②嬉しかった事は、自分がやっている、覚えていたことに初めてOKをもらえた事です。早く仕事を覚えて、様々な仕事をこなせていけたらと思います。辛かった事は、初めて使うソフトを使用するため、慣れるまでに時間がかかりました。さらに、作業の流れも覚えなくてはならないので、今とても苦労しています。③近い将来、周りに信頼される社員になることです。④高田短期大学は、学生と先生方との距離が近い環境にあります。検定前や就職活動の指導などを頂けて、安心して取り組むことができます。それだけでなく、学生生活も楽しめるので、とても過ごしやすい学校だと思っています。⑤日頃から全力で学生生活を楽しくしてください。検定も取得できるチャンスがたくさんあるので、自分自身のスキルアップにも繋げられると良いと思います。

公告 平成23年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規程に基づき公告いたします。

貸借対照表 (平成24年3月31日)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(7,929,516,872)	(8,292,962,128)	(△363,445,256)	固定負債	(280,033,368)	(291,727,644)	(△11,694,276)
有形固定資産	(7,118,881,083)	(7,159,947,938)	(△41,066,855)	退職給与引当金	280,033,368	291,727,644	△11,694,276
土地	861,621,227	861,621,227	0	流動負債	(669,436,550)	(819,069,704)	(△149,633,154)
建物	5,015,844,145	5,056,913,984	△41,069,839	短期借入金	100,000,000	400,000,000	△300,000,000
構築物	866,626,016	843,916,918	22,709,098	未払金	169,376,363	36,893,318	132,483,045
教育研究用機器備品	127,617,678	148,994,250	△21,376,572	前受金	318,363,135	299,793,135	18,570,000
その他の機器備品	7,888,776	9,187,498	△1,298,722	預り金	27,683,467	24,455,075	3,228,392
図書	209,363,763	205,774,583	3,589,180	修学旅行費預り金	50,095,585	54,544,176	△4,448,591
車輛	0	3,620,000	△3,620,000	卒業諸費預り金	3,918,000	3,384,000	534,000
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	負債の部合計	(949,469,918)	(1,110,797,348)	(△161,327,430)
その他の固定資産	(810,635,789)	(1,133,014,190)	(△322,378,401)	基本金の部			
借地権	2,257,500	2,257,500	0	科目	本年度末	前年度末	増減
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第1号 基本金	10,912,102,209	10,620,252,283	291,849,926
施設利用権	982,590	1,063,300	△80,710	第4号 基本金	150,000,000	150,000,000	0
有価証券	2,853,674	3,838,498	△984,824	基本金の部合計	(11,062,102,209)	(10,770,252,283)	(291,849,926)
差入れ保証金	350,000	350,000	0	消費収支差額の部			
退職給与引当特定資産	261,008,500	312,490,000	△51,481,500	科目	本年度末	前年度末	増減
施設設備拡充引当特定資産	332,750,000	584,570,000	△251,820,000	翌年度繰越消費支出超過額	3,468,038,701	3,224,508,802	243,529,899
長期火災保険特定資産	205,126,720	220,193,020	△15,066,300	消費収支差額の部合計	(△3,468,038,701)	(△3,224,508,802)	(△243,529,899)
長期前払金	4,020,825	6,965,892	△2,945,067	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	(614,016,554)	(363,578,701)	(250,437,853)	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	(8,543,533,426)	(8,656,540,829)	(△113,007,403)
現金預金	347,400,449	223,792,372	123,608,077				
未収入金	206,031,855	80,457,806	125,574,049				
立替金	6,289,043	1,067,380	5,221,663				
修学旅行費預り資産	50,095,585	54,544,176	△4,448,591				
卒業諸費預り資産	3,918,000	3,384,000	534,000				
前払金	281,622	332,967	△51,345				
資産の部合計	(8,543,533,426)	(8,656,540,829)	(△113,007,403)				

就職先等一覧

子ども学科

◆幼稚園(公立)

津市立雲出幼稚園、松阪市立中原幼稚園、松阪市立松尾幼稚園、松阪市立松江幼稚園

◆幼稚園(私立)

あおい幼稚園、大川学園幼児舎、大川幼稚園、桔梗が丘幼稚園、白百合幼稚園、清泉幼稚園、第二さくら幼稚園、津幼稚園、津田第二幼稚園、道伯幼稚園、津津文化幼稚園、藤幼稚園、まきば幼稚園、まつさか幼稚園、まるこ幼稚園、和順幼稚園

◆保育園(公立)

いなへ市立治田保育所、大台町立三瀬谷保育園、鈴鹿市立牧田保育所、鈴鹿市立算所保育所、多気町立津田保育所、多気町立相可保育園、玉城町立田丸保育所、津市立橋南保育園、津市立雲出保育園、津市立芸濃保育園、津市立野村保育園、東員町立しろやま保育園、東員町立笹尾第一保育園、松阪市立大河内保育園、松阪市立三郷保育園、松阪市立大津保育園、松阪市立つばな保育園、南伊勢町立なかよし保育園

◆保育園(私立)

愛華保育園、あおい保育園、あかつき保育園、石薬師保育園、一色保育園、嬉野保育園、大里保育園、大鳥保育園、おさなご保育園(尾崎市)、尾鷲第二保育園、

尾鷲第四保育園、風の子藤水保育園、片田保育園、川崎愛児園、かわしま保育園、神戸保育園、岸田保育園、くまだ保育園、光陽保育園、子どもの杜ゆたか保育園、さつき保育園、志登茂保育園、庄内青い鳥保育園、白塚愛児園、白鳩保育園、塩浜保育園、すぎのこ保育園、清泉保育園、大安中央保育園、たのすい保育園、第二長太の浦保育園、つくり第二保育園、高岡ほうりん保育園、高田保育園、高花平保育園、長太の浦保育園、たけのこ保育園、つ保保育園、ながさわ保育園、野登ルンレニ園、長太の浦保育園、ハーブア保育園、ひかり保育園、日の本保育園、久居保育園、ひばり保育園、ひまわり保育園、ほりうりん保育園、マリア保育園、三重愛育保育園、三重保育園、美里さつき保育園、みどり保育園、みやま保育園、みらいの杜ゆたか園、明和ゆたか保育園、ゆたか保育園、ローズ保育園、わかすぎ保育園、わかすぎ第二保育園、若葉保育園

人間介護福祉学科

◆老人福祉施設

泉園、しおりの里、美里ヒルズ、特養ライフかざはや、くわなの宿ヶアフル亀山、百花苑、ケアハウスかざはや苑、和事業所、ひかりの里、英水苑、くすのき園、くぬぎの木、藤田保健衛生大学七栗サナトリウム、鈴鹿病院、洗心福祉会

◆障害者支援施設

聖マテヤ心豊苑、和順学園

◆進学等

日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科、日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科、早稲田文理専門学校日中通訳学科国際観光コース、三重大学研究室

オフィス情報学科

◆建設業

ルーテック・サクライ

◆製造業・情報通信業

イマジン、エムツーサイン、グッドアット、サイネックス、古川、松本産業、丸松鈴鹿事業所、三重キョウスイ、若松屋

◆運輸業

大王運輸

◆卸小売業

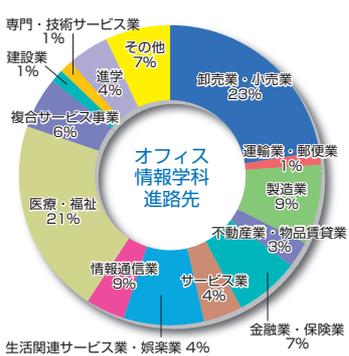
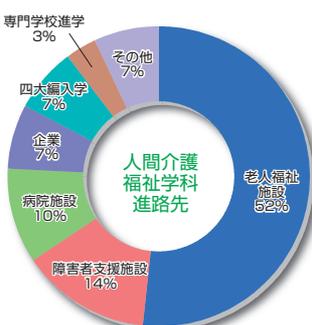
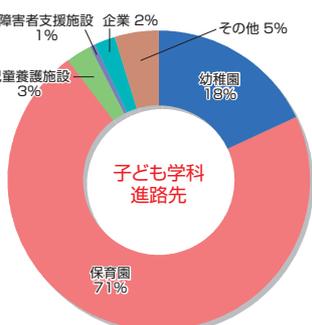
アイドル3、朝日ガスエナジー、朝日レジャー鈴鹿支店、ウッドベル紺文、サンコー、スーパースンシ、マルクスハリユー中部、三重パックス販売、三重トヨペット、三重鋼業、三重三菱自動車販売、ミエライス、御木本真珠島、ミヤムラ

金融・保険業

百五銀行、三重銀行

◆医療・福祉

伊藤歯科、今谷眼科、大木歯科



医院、きらく、上津デンタルクリニック、鈴鹿グリーン歯科、津眼科、塚本歯科診療所、津西産婦人科、積木整形外科

◆サービス業

伊勢湾マリン開発、鈴鹿中央物流、JA伊勢、JA多気郡、JA三重中央、杉新衣裳店、中部電力労働組合、中田会計事務所、白山開発、ルートインジャパン、ライフラン

◆進学等

三重大学教育学部研究生、三重大学人文学部研究生、鈴鹿国際大学国際人間科学部

◆編集後記

この度、高田短期大学通信第47号発行に際し、投稿にご協力いただきました各位に感謝申し上げます。

今号は、御遠忌本山参詣の様子や、昨年度より行われた学内施設の改修、積極的に活動する学生自治会、海外英語研修、各学科の特色、各施設からのご案内や各研究センターの取り組み、各学科の就職先等の進路一覧など、本学の特徴・現状を詳しく掲載いたしました。

ご高覧いただき、今後ともご意見ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

*「高田短期大学通信」題字デザインは、子ども学科二年濱口彩加さんの作品です。